

DOS/V用 MS-DOS版 RsKey

概要

DOS/V用RsKeyは、RS232cから取り込んだデータをキーボードエミュレートするMS-DOS上のTSR型デバイスドライバ プログラムです。

RsKeyは従来のキーボードエミュレータとは異なり、外部機器からPC上の既存アプリケーションへのデータの取り込みに加え、PC上ファイルの外部機器への送信をプログラムレスで行える環境を提供します

★受信

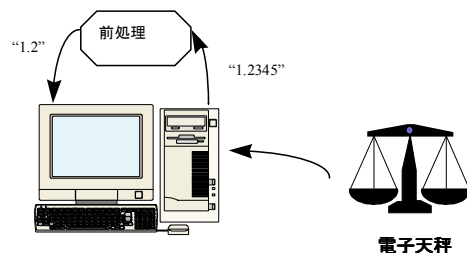
RS232cに接続された機器を、PC上の業務プログラムはキーボードと同等な入力装置として利用できるようになります。

★送信

RsKeyは常駐すると "RSKY" 名でMS-DOSデバイスを登録します。PC上のファイルをこのデバイスにコピーすることで外部機器に送信できます (例: copy filename rsky)

特徴

- ハードウェアキーボードエミュレータと同様に、外部機器からRS232c機器からのデータを直接アプリケーションプログラムに渡します。
- 外部機器データの取り込みだけのみならず、送信もMS-DOSコマンドレベルで行えます。
- ハードウェアキーボードエミュレータでは絶対に不可能な、全角文字(漢字)の送受信が可能です。外部機器からシフトJISコードを送れば、PC上プログラムに全角文字を直接入力できます。
- RsKeyがPC上の状態を監視できるため、前面アプリケーションとのデータのやり取りに支障をきたさないような状態を作り出したり、待ったりすることができます。例えば、外部機器からの半角文字が日本語FEPによって全角に変換されないように日本語FEPの制御(FEPがONならばOFFにする)を行えます。
- 前処理機能. 外部機器からのデータは、RsKeyに取り込まれてからキーボードエミュレートされて出力されますが、取り込んだデータに前処理をして、処理後のデータを出力させられます。前処理はユーザが作成するサブモジュール(RsKeyとダイナミックリンクする TSR 又は、専用ローダでRsKeyメモリに読み込まれる機械語プログラム)が実行しますので、ユーザの用途に合った処理を RsKey に付加できます。サブモジュールは SDK (SDK簡易版は標準添付) を使えば C言語のみの知識で作成できます



仕様

ボーレート	300, 600, 1200, 2400, 4800 9600,19200
データビット	7, 8
ストップビット	1, 2
パリティビット	無し, 偶数, 奇数, スペース, マーク
ハントシェーク	RTS, XON, DTR
DTR / RTS <*1>	有効, 無効
バッファサイズ	受信バッファ=512バイト(可変)<*2> 行バッファ=256バイト(可変)
常駐サイズ	標準バージョン 約17kb <*3> プロテクトされていないバージョンは10kb弱
その他機能	日本語FEP制御(ON/OFF)<*4> 文字間デイレ(0 - 999) バッファードモード<*5> 行単位ハントシェーク プレアンブル / ポストアンブル (32文字)
メニュー<*6>	すべてのオプションは、カーソルキー、リターンキー、ESCキーで選択できるメニューで設定できます。
前処理	ユーザが作成する機械語領域にロードする機械語モジュール、又は、TSR サブモジュールによる RsKeyへの処理機能の追加可能

*1 一般的には RTS/DTR ラインを有効にしたままにしますが、RsKey ではハードウェアハンドシェークを使用していなければ、個別に有効・無効のどちらの状態にでも設定できます。

*2 RsKeyは常駐時に指定サイズのバッファを確保します。バッファサイズの指定によって常駐サイズは変化します。

*3 プログラムはコピープロテクトされています。プロテクトされていないバージョンは個別対応

*4 現在制御できる日本語FEPはIBM DOS/V付属の IAS (DOS/V BIOS INT16H) または、MS-KANJI対応FEPのみです。

*5 行末文字を指定することで、行単位でハントシェークやバッファリングを行えます。行単位で処理をおこなうことでプレアンブル・ポストアンブルを付加します。1文字単位の処理に比べて効率よい処理が可能です。行単位処理を行うかどうかはオプションです。

*6 起動時にコマンド引数でパラメータを指定することもできます。一度設定したパラメータは環境ファイルに保存されます。ターゲット接続機器のパラメータを一度保存してしまえば、次からの起動ではパラメータ指定は不要です。複数の環境ファイルを異なる機器毎に作成できます。

開発元・販売元

有限会社リビグ

〒233-0002 横浜市港南区西1-12-2-801号

tel: 045-843-7122 fax:045-843-7142 e-mail: ribig@ppp.bekkoame.ne.jp